# 科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 30 年 10 月 18 日現在

機関番号: 34316

研究種目: 基盤研究(C)(一般)

研究期間: 2014~2017

課題番号: 26370581

研究課題名(和文)日英語ことわざの定形・拡張用法の意味理解プロセスを語彙語用論・句語用論で分析

研究課題名(英文)A Lexcial and Phrasal Pragmatic Analysis of Meaning Understanding Processes in the Fixed Forms and Extended Uses of English and Japanese Proverbs

#### 研究代表者

東森 勲 (Higashimori, Isao)

龍谷大学・文学部・教授

研究者番号:20148604

交付決定額(研究期間全体):(直接経費) 3,200,000円

研究成果の概要(和文):日英語ことわざの定形・拡張用法の意味理解プロセスを語彙語用論・句語用論で分析について、『翻訳と語用論』(2018開拓社)の第2章で語彙語用論、句語用論と翻訳について述べて、第3章で翻訳とことわざ、特に3.5でことわざの拡張用法と翻訳を扱った。めでたさも中ぐらいなりサラリーマン(サザエさん)Even good luck is small scale in white -collar familiesは元の表現、小林一茶の句「めでたさも 中くらいなり おらが春」のもじり、拡張用法である。関連性理論では、このような定型表現のもじり、拡張用法は、これまでの語彙語用論からさらに句語用論を用いて説明が可能

研究成果の概要(英文): In this study entitled "A Lexcial and Phrasal Pragmatic Analysis of Meaning Understanding Processes in the Fixed Forms and Extended Uses of English and Japanese Proverbs", I have shown that Lexica Pragmatics and Phrasal Pragmatics are useful to describe the extended uses of English and Japanese proverb meaning understanding in the book entitled Translation and Pragmatics which was published in 2018 Kaitakusha. For instance, (1)Medetasamo chuugurainari sarariiman(Original Issa's extended version): English translation is as follows:Even good luck is small scale in white-collar families.

研究分野:人文学

キーワード: 語用論 ことわざ 拡張用法 語彙語用論 句語用論 日英語

日英語ことわざの定形・拡張用法の意味理解プロセスを語彙語用論・句語用論で分析 報告書: 龍谷大学文学部教授 東森勲

### 1. 研究開始当初の背景:

本研究は、日英語ことわざの定形と拡張的用法の意味理解を表意から推意までを両者の相違点と類似点を関連性理論の新たな研究領域である語彙語用論 (Lexical Pragmatics)、句語用論(Phrasal Pragmatics)、および文化的想定を用いた最新の研究である。ことわざ理解のプロセスを統一的に関連性理論の新領域で分析したものは、日本でも、世界でもはじめてであり、この分野の基礎的な基盤研究の第一歩となる。スペイン語、英語のものは分析されているが、日本でのこの分野の研究はまだほとんどされていない。本研究では、日本では未開拓のこの語彙語用論および句語用論を用いて、ことわざ定形とその拡張的用法に研究対象をしぼり、それらの意味理解を解明し、統一的に説明することが目標である。

#### 2. 研究の目的:

関連性理論の最新の研究分野である語彙語用論と句語用論、それから文化的想定を用いて、日英語のことわざの定形・拡張用法の意味理解プロセスを分析し、説明することが本研究の目的である。語彙語用論では、記号化された概念がコミュニケーションの中で語用論的に狭くなったり、広くなったりして伝達概念となる。この概念のゆれ研究をことわざ理解にも援用する。次に、句語用論を用いて複合概念の意味のゆれを慣用句やイデイオム理解を参考にし、ことわざ理解にこの分野の説明が有効であることを実証する。日英語ことわざの背後にある文化的想定も検討する。ことわざの拡張的用法の用例を収集し、分析を進め、さらに英和辞書や英語教科書におけることわざの意味記述の現状を調査し、改善点を検討し、代案を提示する。

#### 3. 研究の方法:

平成26年度は日本語のことわざの辞書、辞典、単行本、論文、イギリスのことわざに関する文献を現地調査も含めて、基本文献を集める。同時に初年度は語彙語用論の文献などを集めて、日本語とイギリス英語のことわざの分析に取り掛かる。英国ロンドン大学名誉教授Deirdre Wilson 先生にも直接、ことわざへの応用の可能性や問題点について聞く。平成27年度はアメリカでのことわざの収集を現地調査し、基本文献を集める(カナダも立ち寄り収集)。句語用論の文献を収集し、アメリカ(カナダ)のことわざの分析を具体的に行う。日本、イギリス、アメリカ(カナダ)のことわざにおける文化的想定の違いについても検討する。平成28年度はシンガポール(香港)などでのことわざの文献収集と分析、平成29年度はこれまでの研究成果のまとめと発表をギリシャ、オランダで行う。

## 4. 研究成果

語彙語用論・句語用論と翻訳

(1)認知語用論(Lexical pragmatics)と翻訳

語彙語用論では記号化された概念(encoded concept)たとえば、 GOOD は、コンテクストが異なると、コミュニケーションで伝達される概念(communicated concept) は1)fast(速度が速い)、2)expensive(値段が高い)、3)blunt(切れない)の意へと語用論的にゆれてアドホック概念が形成される。

(2) 句語用論 (phrasal pragmatics) と翻訳

Phrasal pragmatics(句語用論)とはRomeo and Soria(2010)などの用語で、句によって表現された複合概念 (complex concepts)を語用論操作により、関連性理論の中の意味理解を説明しようという分野である。--Ester Romeo and Belen Soria(2010:183) 1) In all modesty Morris imagined he must be the biggest fish in the backwater. "たとえば、アメリカ人Morris がイギリスの大学に在外研究員として行くときの彼についてのコメントでイタリック体the biggest fish in the backwater の意味を「よどみの中にいる最も大きな魚」の意から語用論的に「イギリスでは一番優秀な学者」と解釈するような説明をする。--Ester Romeo and Belen Soria(2010:190) 日本語の決まり文句もこの句語用論で扱いが可能である。

2)どこの馬の骨か分からない人に娘を嫁にやれない

英訳I cannot give my daughter in marriage to a nobody( a man of doubtful origin) /a person whom nobody knows where he comes from/a stranger.

3)だまされたと思って、食べてみて

英訳Trust me. You will like it. I am sure you will like it.
Accept that we've been taken advantage of and let's just eat.
Believe or not, this tastes great.

(3)ことわざの拡張用法と翻訳

もじりの翻訳をここでは検討した。

4)めでたさも中ぐらいなりサラリーマンEven good luck is small-scale in white-collar families.--ベスト・オブ・対訳サザエさん白版p.151 ことわざの拡張した用法 1):時田昌端(2000:399)『岩波ことわざ辞典』東京:岩波書店によると、明治時代のことわざ集『和諺英訳集』(1901年)『新選俚諺集』(同上)に「出る杭は浪にうたる」という表現が収められているので、川の岸に何本も並んでいる杭が波に打たれている情景を言ったものと推定される。近年は求人広告などにこれを逆用した「出る杭、出てこい」「出るクイは、引き抜きたい」「00 は、出るクイをのばします」といったキャッチコピーが現れ、江戸時代から伝来のことわざとはまったく異なる新しい側面が出ている。

5)出てこい、「出る杭」。... かということを、科目登録でも楽な単位を取ろうというよりも、何を学んだらいいかを考えて、学びたいものを学ぼうと思って選んだかな。.... 出る杭はどんどん引き抜きたいくくらいに伸ばしたい。

https://www.waseda.jp/fsss/sss/other/2011/04/06/990/【社会科学部報No.52 掲載】

ことわざの拡張した用法(2)

6)仏の顔も三秒まで、一万さってまた一万、早起きは三秒の得、月とスッポンポン,遠くの親戚より近くの親戚、三個目の掃除機、嘘8千-2016.1.3 NHKテレビ番組で銀シャリのセリフ

[理論的説明] ことわざの創造的用法としてはAnti-proverb の研究などが参考になる (Higashimori(2006), Wolfgang Mieder, Anna Yothne Litovkina(2002) Twisted Wisdom: Modern Anti-Proverbs. Tasmania:DeProverbio.com)岩田一男(2003) 『英語しゃれ辞典』 研究社による創造的ことわざと翻訳の例。

7)Nonsense makes the heart grow fonder.P.128ばかげた言動はますます愛する気持ちを増す (Absence makes the heart grow fonder.いなければ愛しさはかえって増す)以下は創造的ことわざとその翻訳である。

それぞれどのような意味に理解されるかが語用論的には興味深い問題である (Higashimori 2017a, 2017b)

8)a. 一を聞いて十を知る

英訳You hear one and understand ten.1 : A wise man hears one word and understands ten.2: Smart people are quick to infer the whole from a single bit of information.

b. 十を聞いて一を知る

英訳You hear ten and understand one.1: A foolish man/An old man hears ten words and understands one 2: A foolish man/An old man cannot understand the part of the story even if he is given the whole information.

c. 位置を聞いて住所を知る

英訳Listen to his or her location and know the address.

(日本語のことわざのもじりについては、森真紀(2004)(2005)橋本(2006)荒井(2004) 時田・安藤(2017)が詳しい)

5.発表論文など

[学会発表](計3件)

- 1)関連性理論に基づく日英語の翻訳可能性について:アニメ翻訳からジョーク翻訳まで、日本英文学会関西支部大会(龍谷大学にて)2013.12.22
- 2).Metaphor and Context in Anti-Proverbs: A Relevance-Theoretic Account Isao Higashimori Metaphor Festival 2017(オランダ、Amsterdam 大学にて)2017.8.31
- 3).Understanding Anti-Proverbs: A Relevance-Theoretic Account Isao Higashimori Beyond Meaning Conference (ギリシャ、Athens 大学にて)2017.9.15 [図書] (計 1 件)

東森勲(2018)『翻訳と語用論』東京:開拓社

# [論文] (計1件)

日英語のことわざの語用論的等価を求めて、 『龍谷大学グローバル教育推進センター研究 年報』2016,25号、63-86\_\_

6.研究組織

研究代表 東森 勲(Isao Higashimori)

龍谷大学・文学部・教授

研究番号: 20148604